



こんにちは。山登り好きの「岳」です。

山好きな私が吉野川の分水嶺を歩きながら、読者の皆様に吉野川流域の山々の素晴らしさと現状を紹介したいと思えます。

第11回は、高知県側分水嶺の高知県香美市の大星山から松尾越・鉢ヶ森を經由して茂ノ森の麓までを紹介します。

5月26日の天気は曇りで朝は少し寒く、昼過ぎから天気が良くなり暖かく登山向きの天候でした。出発地点は、高知県香美市と大豊町の境にある谷相林道の峠の無線中継所跡の廃墟横から入山し、まずは、東方面の以前行った大星山（VOL.11 参照）を目指しました。

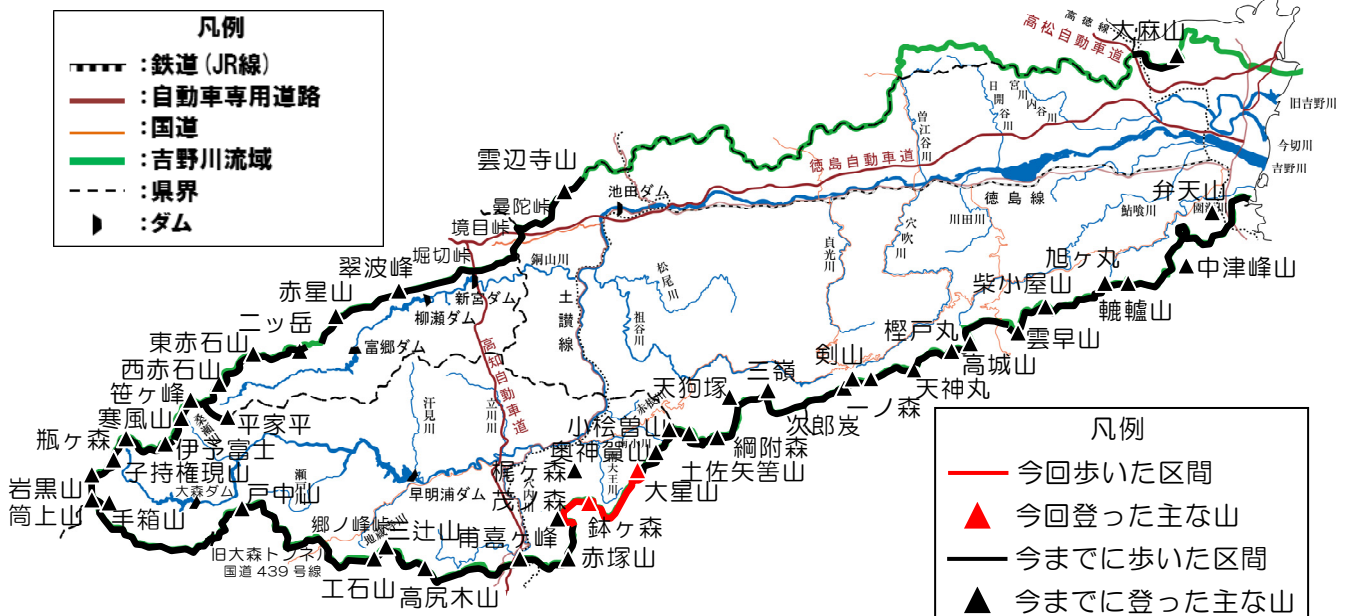
道は、印もあり、分かり易い道でしたが、大星山手前では、ササ原に突入、ササの密集度はそれほどでもありませんでしたが、1本1本が太く、行く道を阻まれ、ササ漕ぎしながら進みました。



無線中継所跡の廃墟横から入山



大星山山頂



大星山登頂後、入山場所の谷相林道の峠に戻り、次は西方面の鉢ヶ森を目指しました。

鉢ヶ森までの道は、ササは生えていましたが道も整備され、登りやすく40分で鉢ヶ森に登頂しました。鉢ヶ森は、弘法大師や安徳天皇にまつわる伝説がある山で、安徳天皇がこの地方に現れる妖怪を鎮めるために兜の鉢を頂上に埋めたとの言い伝えが残り、それが山名の由来になっています。

その後、西の茂ノ森方面を目指しました。鉢ヶ森から西方面は、倒木などで荒れているところはありませんでしたが、綺麗にオンツツジが咲いており、稜線からは梶ヶ森など周辺の山々が見渡せました。また、道は草刈がされており、歩きやすい道でした。不安であったササ漕ぎもなく、下山地点の高ノ森まで快適に歩けました。高ノ森から下山地点の林道峠まで下山しました。

今回の山行で高知県側の分水嶺を制覇しました。



アオテンナンショウ



谷相林道の峠



鉢ヶ森山頂



鉢ヶ森付近のオンツツジ



梶ヶ森

吉野川流域（南大王川）

分水嶺から見た梶ヶ森



物部川流域

吉野川流域

はげ地の分水嶺



分水嶺



草刈りがされている道

◇今回歩いた距離 18.8km

◇今回歩いた分水嶺の距離 13.7km

今まで歩いた距離 281.4km / 全長約 402km

◇分水嶺制覇まで、残り約 121km